

公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2023年度 助成者)

作成日 2023年 8月 29日

氏名 (フリガナ)	柳 瑛
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2023年8月14日 (月) ~ 8月19日 (土)
大学名	奈良県立医科大学
学年	5年

この度、公益財団法人日米医学医療交流財団より助成金のご支援をいただき、ハワイ医学部夏期集中医学英語研修に参加しましたことを報告いたします。本プログラムにおいて、私は、**History Taking** と呼ばれる英語で行う問診スキルや **Case Presentation** と呼ばれる上級医に担当症例を報告する方法・やり方などを主に学びました。また、ハワイ大学医学部において行われる医学教育にも触れ、自らの医学に対する勉強姿勢を省みたり、日本人のドクターが海外で働く姿などを目にして、将来のキャリアに想いを巡らす機会をいただきました。

プログラムで学んだ **History Taking** と **Case Presentation** では、4年生時の **C B T・O S C E** で日本語を使って軽く触れた程度の方しかありませんでした。初めは何を聞いたら良いのかわかりませんでした。講義形式で聞くべきことをリスト化し習得しやすいように教えてくださったため、効率よく学習することができました。また、ハワイの医学教育で中心的役割を担う **Problem Based Learning** に触れました。アウトプットが主に求められる授業スタイルで、知識があることを前提にする授業のように感じられました。少人数で行うやり方であるため、同級生との信頼感が生まれやすく、病院において形成される小規模な **multidisciplinary team** を模して作られたモデルなのかなとも思いました。

プログラムにおいて私が得た最も重要なことは、今後臨床留学を目指す中で持ち続けるモチベーションをチャージできたということでした。これまで漠然と抱えてきた臨床留学への憧れから英語の勉強を進めてきましたが、周りに同じ方向を向く同級生が少ない、あるいはほとんどいない環境でモチベーションを維持し続けることに困難を感じていました。今回、**JABSOM** においてハワイの医学生と交流する中で、現在の私の勉強方法や実力が彼らとどの程度乖離しているのか、あるいは正しい向きに進んできたのかなどを考えることができました。また、留学という方面を目指す全国の学生と交流を持てたこと、情報を共有できたことはとても貴重な経験となりました。5年から10年単位で目指す留学では、途中挫折することもあると思いますし、常にモチベーションを維持し続けることは不可能だと聞きます。都度、モチベーションをエネルギーみたいに補充しなければならない中で、今回のプログラムをととても有意義に過ごすことができたのではないかと考えます。

最後になりましたが、この度のプログラムにおいてご指導・サポートをくださいましたみなさまに感謝申し上げます。また、プログラムへの参加へそっと背中を押して下さるよう助成金をくださいました公益財団法人日米医学医療交流財団に感謝申し上げます。この5日間の経験を将来に活かせるように今後ともより一層努力してまいります。